

国語科学習指導案

「自らの考えを広げ、深めるために、文章を関連付けて読み、解説ポスターを作成しよう」
(「時間をめぐる衝突」内山節)

令和7年10月 第1学年 指導者 高柳 健太郎

I 単元(題材)の構想

1 単元観(題材観)

高等学校学習指導要領(平成30年度告示)解説国語編において、「現代の国語」は、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること「知識、技能」、論理的思考力・深い共感性・豊かな想像力を伸ばし、他者との関わり中での伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること「思考力、判断力、表現力等」を目標として設定した科目である。そして、「読むこと」領域においては、複数の文章を比較したり、関連付けたりながら、理解したことや解釈したことをまとめて発表する活動を通して、内容や書き手の意図を解釈したり、自分の考えを深めることを目的としている。これを踏まえ、本単元は、サブテキストの比べ読みを通して筆者の主張・意図を解釈しながら、本文中のキーワードについて解説ポスターを作成することで、自分の考えを広げたり、深めたりすることを目標として設定する。

まず、教科書本文とサブテキストを読み比べ、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関連付けることで、本文の内容や書き手の意図について解釈を深めるとともに、生徒の考えを広げ深めたりすることができる。また、教科書本文中のキーワードについて解説ポスターを作成することで、生徒が学習内容を能動的に表現すると同時に、学習内容と自分自身の既有知識や経験、実社会とが結び付き、自らの考えを広げたり深めたりすることができる。と考える。

単元のメインテキストとしては、教科書(『精選 現代の国語』明治書院)に掲載された「時間をめぐる衝突」(内山節)を扱う。これは東京新聞(2004年3月16日夕刊)の文化欄に掲載された文章である。本題材は比較的文量が少なく、平易な言葉で記述されている。しかしながら、上野村での生活という筆者の具体例から始まり、上野村の生活を支える「村の時間」について、経済成長に先導された「都市型の時間」を対立項として立てて述べた後、文章の後半では、「戦争」「グローバル化」「近代化」という抽象的な社会課題・現象へと話題が展開する構成となっており、対比構造、具体と抽象の関係が用いられるなど、評論文としては典型的な構成・展開ではありながら、内容の理解や書き手の意図を解釈が難しい文章であるとも考えられる。そして、本単元ではサブテキストとして、「文化」と「文明」の二項対立を手掛かりに特定の土地・社会にもともとあった固有の「文化」が、普遍的で近代的なシステムとしての「文明」にとって代わられていくことを話題とした評論文、「文化と文明」(高階秀爾『本の遠近法』新書館、2006)を参照する。教科書本文とサブテキストの共通点に着目することで、本文で語られている「村の時間」はサブテキストにおける

「文化」の一つであり、「都市型の時間」は「文明」の一つであること、文明が普及することによって固有の文化が失われていくことを「侵略」と捉え、その際に両者の間に衝突を引き起こされることなど理解できる。そのため、比べ読み活動を行うことで、教科書本文の内容や筆者の意図について解釈を深める助けとなりと同時に、両者の執筆背景に共通して見えてくる「グローバル化」や「近代化」の功罪というテーマにまで生徒の考えを広げることができる。と考える。

2 研究との関わり

研究協力校の生徒は、特に国語科の授業においては、懸命に文章を読んで解釈しようとする姿が見られたり、難題に対して他者と協働しながら解決を図ろうとしたりする姿が見られる。一方で、問いに対する絶対的な解答やその解答に至るまでの最短の過程を求めている、間違いや失敗を恐れていたりに受動的な学習姿勢から脱却できないという課題が残っている。また、学習内容と自身の既有知識や経験、実社会とが結び付かず、自身の考えを広げたり深めたりすることに課題があるこのような生徒に対して、教師から提示される解答や解説を待つ受動的な学習姿勢でなく、生徒自らが課題に向き合いながら試行錯誤して学ぶような能動的な学習姿勢を身に付けるとともに、学んだ内容を自分自身の既有知識や経験、実社会と結び付け、自らの考えを広げ、深め、他単元や他教科の学習、ひいては生徒を取り巻く課題の解決に活かしてほしいと考えた。そこで、特別研修の研究主題を「自分の考えを広げ、深めることができる生徒の育成」とし、次のような手立てを講じていく。

手立て①：教科書の文章と、関連する論点を持つ文章(サブテキスト)を関連付けて読む活動。メインテキストの内容を補強して解釈を深めること、生徒の試行錯誤を促して考えを広げたり、深めたりすることを目的としている。

手立て②：本文中のキーワードについて、文章から読み取った内容と、生徒自身の知識や経験を結び付けて表現する活動。本文の内容を捉え直し、解釈したことを表現できる能動的な学習機会を確保すること、学習内容と既存の知識・経験を結び付けて生徒の考えを広げたり深めたりすることを目的としている。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 (2)ア)	・具体的な情報と抽象的な情報とを区別しながら読むことができる一方で、具体的な情報と抽象的な情報との関係性(例示、抽象化 など)を捉えることに課題がある。
思考力、判断力、表現力等	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 (C1)イ)	・文章や図表の内容を解釈することはできる一方で、書き手の意図を解釈することに課題があるとともに、自分の考えを広げたり、深めたりすることに課題がある。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・読書に親しみながら、自己を向上させようとする態度や、言葉を通して身近な他者と関わろうとする態度はある一方で、言葉を通して、自分の考えを客観的・論理的に述べたり、実社会と結び付けて思考したりするなど、広く他者や社会と関わる態度に課題がある。

4 評価規準

知識・技能	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。
思考・判断・表現	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
主体的に学習に取り組む態度	・解説を作成するために、粘り強く文章を読解し、他者と交流を重ね、自分の考えを広げたり、深めたりしようとしている。

5 指導及び評価の計画(全6時間：本時第4時)

過程	時間	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法(観点)> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
つかむ	1	<p>【予習】教科書本文(以下、本文)を読み、本文のキーワード(本文の要旨に関りそうな語句)を挙げる。</p> <p>□単元の総括として、「本文のキーワードについての解説ポスターを作成する」活動を行うことを確認し、単元の見通しを共有する。</p> <p>□本文を読み、構成や展開について理解する。</p>	○			<p>◆本文が二項対立の構成になっていること、具体から抽象への展開(筆者の上野村の経験をもとに村の時間の話題へと展開するなど)となっているということを理解している。<観察・ワークシート(知)></p>
<p>[単元の学習課題]</p> <p>筆者の意図を踏まえながら本文中のキーワードについて解説ポスターを作成する活動を通して、自分の考えを深めよう。</p>						

追究する	2	<input type="checkbox"/> 本文前半部について、本文の対比構造に注目しながら「村の時間」「都市型の時間」について理解する。 <input type="checkbox"/> 「円環時間」「直線時間」について書かれた補足資料(小池陽慈『現代評論キーワード講義』第5版、2024)を見て、「村の時間」「都市型の時間」についての理解を深める。		○	◆本文とサブテキスト①を比較することで、「村の時間」と「円環時間」、「都市型の時間」と「直線時間」を結び付けながら理解を深めている。<ワークシート(思)>
[本時の課題] 本文前半の内容について理解を深める。					
	3	<input type="checkbox"/> サブテキスト「文化と文明」(高階秀爾)について、対比構造に注目しながら読解し、「文化」と「文明」について理解する。	○		◆サブテキストの構成や展開に注目しながら読解を進め、「文化」や「文明」の特徴・機能について理解している。<観察・ワークシート(知)>
[本時の課題] サブテキストの構成や展開に注目しながら、読解しよう。					
4 本時	4	<input type="checkbox"/> 本文とサブテキストの共通性について考える。 <input type="checkbox"/> テキスト間の共通性を踏まえ、本文中のキーワード「無事な世界を、失うこと」について説明する。		●	◆サブテキストを参照しながら本文の「無事な世界」について考えることで、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、理解を深めている。<観察・ワークシート(思)>
[本時の課題] 本文のキーワードについて、サブテキストを参照しながら理解を深める。					
	5	<input type="checkbox"/> 「グローバル化」について解説ポスター作成に取り組む。		○	◆本文とサブテキストを読み比べながら、本文の内容や書き手の意図を捉えようとしている。<観察・ワークシート(態)>
[本時の課題] これまでの学習を基に、解説ポスターを完成させよう。					
まとめる	6	<input type="checkbox"/> 解説ポスターを共有・相互評価する。 <input type="checkbox"/> 本文やサブテキスト、各自が作成した解説ポスターを参照しながら、「グローバル化」や「戦争」、「近代化」を捉えなおし、考えを深める。		● ●	◆本文とサブテキストを読み比べて解説ポスターを作成し、本文の内容や書き手の意図を解釈することができている。また、自分の知識や経験と結び付け、考えを深めることができている。<解説ポスター(思・態)>
[本時の課題] 完成した解説ポスターを共有し、書き手の意図についての理解を深めるとともに、「グローバル化」や「戦争」、「近代化」について自分の考えをさらに深めよう。					

II 第4時の学習

1 ねらい 教科書の文章(メインテキスト)をサブテキストの内容と相互に関連付けながら読み、内容や書き手の意図を解釈するとともに、理解を深めることができる。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<課題> サブテキストの構成や展開に注目しながら、読解しよう。	
<p>1 前時までの学習内容を確認する。導入①(2分) S: 前回は「文化」が固有のもので、社会や人間の存在を支えるものであるのに対し、「文明」が普遍性を求めるもので、安定した社会を支えるものであることを学んだな。</p> <p>2 本文とサブテキストの共通性について確認する。導入②(3分) S: どちらの文章も“村の時間 vs 都市型の時間” “文化 vs 文明” という二項対立の構成だな。 S: 二つの文章を結びつけると、“村の時間” = “文化”の一つであり、“都市型の時間” = “文明”の一つであると言えそうだな。</p>	<p>○前回までのワークシートや Figma を振り返り、「文化」「文明」の定義をそれぞれ確認するように促す。</p> <p>○第1～3時で用いたワークシートを見比べることで、文章構成(前半で二項対立をし、後半で抽象化)が共通していることを確認する。また、“村の時間” = “文化”の一つであり、“都市型の時間” = “文明”の一つであるという内容の共通性を確認する。</p> <p>○サブテキストを参照する目的が、教科書本文の読解の補強にあることを強調する。</p>
<p>3 サブテキスト内の「文化のもつ恐ろしい一面」について記述する。展開①(15分: 個人7分→ペア3分→確認5分) S: 異文化が介入してきたとき、社会や自己のアイデンティティを保証してくれる自文化を守ろうと抵抗して、衝突が生まれる一面。 S: 文化同士の接触が、それぞれの文化の存在を脅かすものと受け取られ、帰属する人々のアイデンティティを守る争いを生む一面。</p>	<p>○前時の学習内容と本時の学習内容を結び付けるきっかけとして演習を行い、解説は最小限に留める。 例) 恐ろしい一面 →キャプテンクックの<u>悲劇</u> →異文化の介入(接触)が<u>深刻な結果</u>を生んだ例 →異文化から、自文化を守るための<u>争い</u>が生んだ<u>深刻な結果</u></p>
<p>4 本文とサブテキストとの共通性を踏まえ、「無事な世界を、失うこと」について説明する。展開②(30分: 個10分→ペア10分→入力5分→確認5分) S: 時間の蓄積によって培われたその地域の歴史が壊され、その歴史によって支えられていた暮らしやアイデンティティが喪失していくこと。 S: 時間の蓄積の中で全てのものが相互に結ばれながら展開し、そこに住む人間の在り方を「記憶」として伝えてくれる時間世界が、均質的な時間システムの流入によって崩壊させられること。</p>	<p>◎本文とサブテキストの共通性を強調することで、本文の内容や書き手の意図への解釈・理解が深める。</p> <div data-bbox="826 1406 1442 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目</p> <p>サブテキストを参照しながら本文のキーワードについて考えることで、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈できている。<ワークシート(思)></p> </div>
<p>5 本日の学習を振り返りつつ、本文における「グローバル化」について考える。まとめ(5分) S: 今まで「グローバル化」を肯定的に捉えていたけど、「グローバル化していく時代は、絶えず戦争を生み出し続けるようになった。」とあるな。なぜかを考えれば、「グローバル化」について解説できそうだな。 S: 「グローバル化」は世界を一体化することと考えていたけれど、「一体化」の背景を考えてみよう。</p>	<p>○次時は「グローバル化」について解説ポスター作成することを予告する。</p>